

進めよう!

不登校が生じない ような学校づくり

ACTION 3!! 福岡アクション3!!



「福岡アクション3」は、県内全ての学校において、共通して実践すべき取組を明確化し、不登校対策の重要性について理解を深め、きめ細やかな取組の充実を図り、不登校の課題の解決を目指すものです。

ACTION 3!! 福岡アクション3!!

を全ての学校で実践しましょう!

「福岡アクション3」は、不登校対策の**「3つの視点」**(未然防止、早期発見・早期対応、不登校児童生徒への支援)に基づき多くの学校で実践されている取組を3つのステージに整理し、各ステージに**「3つのアクション」**を設定しています。また、これらのアクションは次に掲げる3つの特徴を備えています。(※裏面を参照)



- 1 すぐできる**
具体的で、即実行できる
- 2 必ずできる**
負担感が少なく、誰でも必ずできる
- 3 みんなでできる**
組織的・計画的・継続的にできる

※ 「福岡アクション3」の詳細については、毎年度当初に県教育委員会が通知している「児童生徒の生徒指導上の諸課題の未然防止及び対応について」の中で説明しています。

ACTION 3!! 福岡アクション3!!

を基に、全ての教職員で取り組みましょう!

不登校児童生徒への支援は、喫緊の教育課題であり、この課題の解決に向けて全力で取り組む必要があります。その際、不登校の児童生徒を含む全ての児童生徒に対して、全ての教職員で行う組織的な取組が有効です。そこで、学校における取組を促進するために、「福岡アクション3」に基づき実践しましょう。

① 実態分析

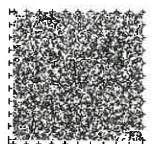
② 共通理解

③ 合意形成

④ 共通実践

⑤ 評価・見直し

- ① 不登校に関する自校の実態・課題を分析する。
- ② 「福岡アクション3」について、全ての教職員で共通理解を図る。
- ③ 全ての教職員での合意形成の下、実践する。
 - 目標・指標・取組を明確に!
- ④ 全ての教職員で実践する。
 - ちょっとした打合せや情報共有を大切にして実践しよう!
 - 小さな成果を探そう!
 - うまいかない部分は修正も検討しよう!
- ⑤ 指標の達成度に基づき取組について評価し、必要に応じて見直しを行う。
 - 自校独自の「○○学校アクション3」の策定を目指そう!





すぐできる!

ステージ1

朝のアクション

昼のアクション

夕のアクション

必ずできる!

未然防止のアクション

- 5分早く教室へ(児童生徒の出迎え)
- 遅刻・早退・欠席者がいたら、顔を見ながら出席確認、言葉かけ
- 児童生徒の寝めるところを探して
- 児童生徒と一緒に昼食
- チャンスを見つけて、言葉かけ
- 教室を出るのは最後に
- 教室環境を整えて
- 遅刻・早退・欠席者がいたら、連絡忘れず
- 遅刻・早退・欠席状況のデータベース化



ステージ2

1日目のアクション

2日目のアクション

3日目のアクション

早期発見・早期対応のアクション

- 欠席1日で、必ず、様子をうかがう電話連絡
- 翌日の朝、笑顔で、言葉かけ
- 欠席2日で、安心感を与える電話連絡
- 欠席明けの朝、笑顔で、当該児童生徒への連絡の依頼
- 言葉かけ
- 欠席3日で家庭訪問し、保護者とじっくり話を
- 朝の会で、当該児童生徒のことを学級で話題に
- 学年教師に報告、欠席明けは、みんなで見守り、チャンスで言葉かけ

ステージ3

分担のアクション

共有のアクション

評価のアクション

きめ細かで継続的な支援のアクション

- 支援チームの編成、マンツーマン対応の責任者の明確化
- 当該児童生徒に関する情報の整理と分析
- 短期(1か月程度)目標と役割分担、当面の具体策の決定
- 当該児童生徒の小さな変化を探す
- 継続的に、短時間の打合せで情報共有
- 「できないこと」より「できたこと」の評価を
- チーム編成や指導計画の検討と修正
- 支援の継続に関わる教職員同士の声かけや励まし

